



11/3 2024
(日・祝)

プロムナードコンサート No.410

PROMENADE CONCERT

会場：サントリーホール

指揮／タビタ・ベルグルンド

ピアノ／ホーヴァル・ギムセ

シベリウス：

交響的幻想曲《ポヒョラの娘》op.49 (約14分)

グリーグ：

ピアノ協奏曲 イ短調 op.16 (約30分)

ムソルグスキー（ラヴェル編曲）：

組曲《展覧会の絵》(約35分)

ホールでの
過ごし方

- ◎携帯電話や音の鳴るモノは電源を切りましょう。
- ◎演奏中はお話ししないで静かに聴きましょう！周りの人も演奏を楽しみに来ています。
- ◎公演中の録音・録画、写真撮影は禁止です。終演後のカーテンコール時のみ写真の撮影が可能です。

PROGRAM NOTES

音楽家たちは自分の国や民族を愛し、その土地の自然や、人々の暮らしや伝統を、音楽で表してきました。今日はそうした作品の中から3曲を聴いてもらいます。フィンランド、ノルウェー、ロシアを旅していきましょう。



シベリウス：交響的幻想曲《ポヒョラの娘》op.49

ジャン・シベリウス（1865～1957）が活躍したフィンランドは、ヨーロッパの北国（北欧）です。彼の音楽には、北欧の美しい湖や深い森の情景、フィンランドの人々が愛した物語などが豊かに表現されています。

《ポヒョラの娘》は、「カレワラ」というフィンランドの叙事詩（昔から伝わる神話や英雄の物語のこと）に基づいています。ある英雄が、北国ポヒョラの美しい娘と出会います。娘は英雄に「私が出す問題をクリアできたら、あなたの愛を受け入れましょう」と伝えます。ところが問題は、「小さな糸巻きから大きな船を作りなさい」などの超難問ばかり！あきらめた英雄を娘はあざ笑う、というちょっと厳しいストーリー。それをオーケストラ音楽で生き生きと描いたのがこの作品です。

グリーグ：ピアノ協奏曲 イ短調 op.16

エドヴァルド・グリーグ（1843～1907）も北欧の国ノルウェーの作曲家です。ノルウェーはフィヨルドと呼ばれる狭い湾がたくさんあり、自然の恵みが豊かな国です。グリーグの音楽も、美しい自然風景を映し出すようなのどかな響きや、独特の舞曲的なリズムで彩られています。

このピアノ協奏曲は、グリーグが25歳の時に作曲した初期の作品です。当時彼は、いとこのソプラノ歌手ニーナと結婚したばかり。幸せいっぱいの日々を送りながら、創作意欲が高まる中で書かれました。**第1楽章**は、ティンパニのとどろきと、ピアノが勢いよく降りてくるインパクトの強い序奏で始まります。木管楽器から出される民謡風の第1主題と、チェロが先導する静かな第2主題で曲は展開していき、ピアノは華やかなパッセージで活躍します。**第2楽章**はたっぴりとロマンティックに、ピアノとオーケストラが対話するように歌われ、**第3楽章**は民族舞曲風のリズミカルで力強いフィナーレとなります。

ムソルグスキー（ラヴェル編曲）：組曲《展覧会の絵》

組曲「展覧会の絵」は、ロシアの作曲家モデスト・ムソルグスキー（1839～1881）がもともとピアノ曲として作った組曲です。それをのちに、フランスの作曲家モーリス・ラヴェル（1875～1937）がオーケストラのために編曲しました。

ムソルグスキーは、ロシアの民族的なスピリットを音楽で力強く表現したいと考えていました。同じ志を持った美術家に、ヴィクトル・ガルトマン（1834～1873）がいました。二人は厚い友情で結ばれていましたが、ガルトマンは1873年に39歳で突然亡くなってしまいます。翌年に、ガルトマン

の絵を集めた展覧会が開かれました。ムソルグスキーは、友人のその絵に刺激をうけて、この組曲を書きました。

全部で10曲からなる組曲ですが、間に「プロムナード」という短い曲が挿入されます。展覧会場を歩いている場面の音楽です。一枚一枚の絵にちなんだ音楽は、民話や、働く人々や、宗教など、ロシアの人々の暮らしや土地の情景を生き生きと映し出しています。次のような順番で演奏されます。



ヴィクトル・ガルトマン



キエフ（キーウ）の大門
（ガルトマンの設計）

プロムナード

第1曲「グノームス」：地の精の踊り

プロムナード

第2曲「古城」：吟遊詩人の哀愁歌

プロムナード

第3曲「テュイルリー」：パリの公園で口喧嘩する子どもたち

第4曲「ブイドロ（牛車）」：労働に苦しむ農民の姿

プロムナード

第5曲「殻をつけた雛の踊り」：卵の殻をまとった子どものバレエ

第6曲：ザムエル・ゴールデンベルクとシュムイレ：

金持ちのユダヤと貧しいユダヤ人

第7曲「リモージュの市場」：フランスの古都の活気ある市場

第8曲「カタコンベ、ローマ人の墓地」：ローマ時代の地下墓地

死者とともに死せる言葉で（プロムナードの変奏）

第9曲「鶏の足の上に立つ小屋（バーバ・ヤガー）」：ロシア民話に登場する妖怪のお婆さん

第10曲「キエフ（キーウ）の大門」：ガルトマンが設計図を描いた大きな門

文／飯田有抄（クラシック音楽ファシリテーター）

【オーケストラ配置図】

11/3 プロムナードコンサート No.410

大太鼓、小太鼓、トライアングル
シンバル、シロフォン、タムタム
チャイム、ガラガラ、ムチ
ブロッケンシュピール



ティンパニ



トランペット



トロンボーン

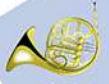


ユーフォニアム



チューバ

ホルン



クラリネット
バスクラリネット



ファゴット
コントラファゴット



フルート
ピッコロ



オーボエ
イングリッシュホルン



チェレスタ



ハーブ



第一ヴァイオリン ★
★コンサートマスター

第二ヴァイオリン

チェロ



ヴィオラ



コントラバス

指揮者



※楽器の配置は一例です。当日のステージで確認してください。



©Nikolaj Lund

指揮

タビタ・ベルグルンド Tabita BERGLUND, Conductor

「ヨーロッパで最も有望な若手指揮者のひとり」と称される、現在最もエキサイティングで才能ある若手指揮者のひとり。2024/25シーズンからデトロイト交響楽団首席客演指揮者を務め、来シーズンからドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者に就任する予定。これまでにスウェーデン放送交響楽団、フィルハーモニア管弦楽団、リヨン国立管弦楽団などを指揮。

ノルウェー音楽アカデミーでトルルス・モルクにチェロを、オーレ・クリスティアン・ルードに指揮を学んだ。オスロ・フィルハーモニー管弦楽団やベルゲン・フィルハーモニー管弦楽団などで演奏活動をした後、指揮に専念。今回の都響への登壇が指揮者としての日本デビューとなる。



ピアノ

ホーヴァル・ギムセ Håvard GIMSE, Piano

オスロ近郊の街コングスヴィンゲル生まれ。ザルツブルク・モーツァルテウム音楽院とベルリン芸術大学でハンス・ライグラフに師事、イジー・フリンカのもとで研鑽を積んだ。

バーミンガム市交響楽団、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、hr響（フランクフルト放送響）などと共演。またウィグモアホール、カーネギーホール、アムステルダム・コンセルトヘボウ、ベルリン・コンツェルトハウスなどに出演した。録音も多く、ディアパゾン・ドールや『グラモフォン』誌エディターズ・チョイスなどに選ばれている。1990年代後半から、ノルウェー音楽アカデミー（オスロ）でピアノと室内楽の非常勤教授を務めている。

東京都交響楽団

Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra

東京オリンピックの記念文化事業として、東京都が1965年に設立しました。都響（ときょう）という愛称で親しまれています。

東京文化会館（上野）を本拠地としてサントリーホールや東京芸術劇場などで定期的にオーケストラの演奏会を開催しています。交響組曲『ドラゴンクエスト』（全シリーズ）や『Fate/Grand Order』などゲーム音楽の演奏や、都内の小中学生を対象に開催している音楽鑑賞教室、病院や福祉施設への出張演奏など多彩な活動を展開しています。2021年7月に開催された【東京2020オリンピック競技大会】開会式では、「オリンピック賛歌」の演奏（大野和士指揮／録音）を務めました。



© Rikimaru Hotta


<https://www.tmsso.or.jp/>


都響ヤングシートは、企業や団体からご支援をいただき、サントリーホールでのプロムナードコンサート、東京芸術劇場での定期演奏会Cシリーズなど、休日昼間の都響主催公演を中心に青少年をご招待し、オーケストラコンサートをお楽しみいただいています。ご支援企業については月刊都響をご覧ください。